

表 1 生徒の姿チェックシート

※過半数の生徒ができていると思われる項目のチェック欄に✓を付けます。

	生徒の望ましい姿	チェック	授業改善の手立て
主に 主体的な 学び	ア 学習内容に関心を示し、見通しをもって学習に向かおうとしている。		【関心】 A①②③ 【見通し】 A④⑤⑥⑦⑧⑨
	イ 自分の考えをもって、粘り強く学習に取り組もうとしている。		【粘り強く】 A⑩⑪⑫⑬
	ウ 学習を振り返り、自分が学んだことを理解している。		【振り返り】 A⑭⑮⑯⑰
主に 対話的な 学び	エ ペア学習や話し合い活動に、意欲をもって参加している。		【意欲】 B①②③
	オ 対話を通して多様な考えを得て、自らの考えを広げている。		【広げる】 B④⑤⑥⑦⑧
	カ 対話を通して多様な考えを得て、自らの考えを深めている。		【深める】 B⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
主に 深い 学び	キ 学習過程の中で、自ら「問い」*（課題）を見だし、解決策を考えている。		【問い】 C①②③
	ク 学習の中で得た情報を精査し、自らの考えを形成している。		【情報の精査】 B⑨⑩⑪ C④ 【考えの形成】 A⑪ B⑫⑬⑭⑮⑯ C⑤⑨
	ケ 学んだ知識を相互に関連付けて、より深く理解している。		【関連付け】 C⑥⑦
	コ 自分が学んだことを、日常生活や社会生活、他教科の学習につなげている。		【創造】 C⑧⑩⑪⑫

※「授業改善の手立て」欄の記号A①～C⑯は、「手立てシート」の記号に対応しています。✓が付かなかった項目について示された手立てを、次の単元で取り入れてみましょう。

\* 「問い」

「学習課題から導かれた一人一人の生徒が立てる課題解決のための自身の問題」のことです。

[例] 学習課題 この単元では、人物や情景を描いた表現に着目して、登場人物の心情を捉える学習をします。冒頭の場面と回想場面を関連付けて、冒頭の場面に戻って作品の続きを書きます。（「少年の日の思い出」）

問い ・「客」は、なぜ「私」に過去の過ちについて語ったのだろうか。

・冒頭の場面では、どのような情景描写から「客」の心情が捉えられるだろうか。等

